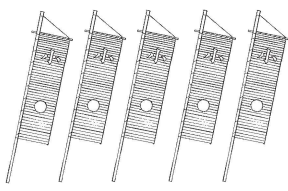


三浦命助と三浦一揆

かまいし歴史文化プロモーションを通じた関係人口創出事業



祝 岩手県指定文化財



三浦命助関係資料(令和7年4月11日指定)

岩手県指定記念講演会

令和7年 9月14日(日)

会場▶ 釜石情報交流センター釜石 PIT
開場▶ 13時
開演▶ 13時30分～15時

参加費無料



講師 東北学院大学文学部 教授
兼平 賢治氏

【主催】釜石市教育委員会事務局
【問い合わせ】釜石市教育委員会事務局文化財課 TEL 0193-27-7567

三浦命助 肖像画

岩手県指定記念講演会

かまいし歴史文化プロモーションを通じた関係人口創出事業

「三浦命助と三閉伊一揆」

日 時：令和 7 年 9 月 14 日（日）

開 場：13 時 開 演：13 時 30 分～15 時

会 場：釜石情報交流センター 釜石 PIT

入場無料

岩手県指定文化財となった三浦命助関係資料は、嘉永 6 年（1853 年）に発生した三閉伊一揆の頭人（指導者）の一人であった三浦命助に関係する貴重な資料群です。

三浦命助は一揆後にとらえられて投獄の身となりますが、本資料群は命助が牢内で記した「獄中記」をはじめ、命助やその家族が逃走資金などの調達のために作成した文書や命助が着用した装束などからなります。これらの資料群は、三閉伊一揆の頭人の足跡を知ることができ、一揆を導いた命助が育んだ思想を知るうえで貴重であり、さらに、全国に知られた三閉伊一揆の性格と実像に迫り、盛岡藩政と民衆の動向をひもとく上でも貴重で本県の歴史にとっても重要な資料として評価されています。

令和 7 年 4 月 11 日に三浦命助関係資料が岩手県指定文化財に指定されたことをうけ、当該資料の指定に尽力された兼平賢治先生（東北学院大学文学部教授）をお招きし、三浦命助と三閉伊一揆に関する講演会を開催する運びとなりました。

「三浦命助関係資料」35 点の一部

岩手県指定文化財

祝

【名 称】三浦命助関係資料

【員 数】1 件（総点数 35 点、うち 5 点は元釜石市指定文化財「三浦命助関係資料」）

【種 別】有形文化財（美術工芸品のうち歴史資料の部）

【所有者】個人

【指定年月日】令和 7 年 4 月 11 日



講師 東北学院大学文学部 教授 兼平 賢治 氏

【研究テーマ】

戦乱の世から泰平の世に移り変わる 17 世紀の近世武家社会の転換像を、新たな視点から考察する。フィールドは東北諸藩で、とくに盛岡藩南部家について江戸時代をとおして研究している。最近では三浦命助や三閉伊一揆の調査を進める。

【主要著書・論文】

『馬と人の江戸時代』（吉川弘文館 2015 年）
『近世武家社会の形成と展開』（吉川弘文館 2020 年）
『家からみる江戸大名 南部家—盛岡藩—』（吉川弘文館、2023 年）
「東北諸藩の日記—盛岡藩「雑書」と守山藩「守山御日記」の特徴—」（福田千鶴子・藤實久美子編『近世日記の世界』ミネルヴァ書房 2022 年）
「近世の幕開けと諸藩の成立」（東北大学日本史研究室編『東北史講義 近世・近現代篇』筑摩書房 2023 年）

【講師略歴】

1977 年 岩手県に生まれる
釜石市立八雲小学校に一時在籍
1999 年 岩手大学教育学部卒業
2006 年 東北大学文学研究科博士後期課程修了
2019 年 東海大学文学部准教授
2024 年 東北学院大学文学部歴史学科教授

会 場 ▶ 釜石情報交流センター 釜石 PIT 釜石市大町 1 丁目 1 番 10 号 電話 0193-27-8751

＊釜石駅 ○ JR 釜石線・三陸鉄道リアス線から ■ 徒歩 10 分 ■ タクシー 5 分 ■ バス 5 分

＊自動車 ○ 宮古方面 三陸自動車道釜石両石 IC から約 10 分

○ 遠野・大船渡方面 三陸自動車道釜石中央 IC から約 10 分

問い合わせ ▶ 釜石市教育委員会事務局文化財課 釜石市嬉石町 1 丁目 7 番 8 号 電話 0193-27-7567

